

# 相模原事件を踏まえた 入所者や職員の心のケアについて

北九州市立精神保健福祉センター  
所長 三井 敏子

様々な反応・様々な影響  
何が課題か？・・・再発防止？

動揺・不安・恐怖・戸惑い  
落胆・無力感・不安全感

- ▶ 容疑者の犯行動機・思想信条の問題・精神疾患
- ▶ 薬物(大麻)の影響・精神疾患を持つ患者の人権
  - ▶ 自傷他害のおそれとは何か
- ▶ 精神科病院への入院・退院判断は適切だったか
- ▶ 退院後の医療は適切だったか・措置入院のあり方
  - ▶ 退院後の行政によるフォローは？
- ▶ 経過観察や通院の義務付け等が可能なのか
  - ▶ 監視し続けることができるのか？
  - ▶ 施設の防犯対策は充分だったか
  - ▶ 施設の安全強化は必要か、可能か

# 池田小学校事件（平成13年）の影響

---

- ▶ 犯人に精神科治療歴があることがわかると、メディアは一斉に「危険な」精神障害者に対して医療が治療責任を果たしていないと批判
- ▶ 首相の指示にもとづいて、厚生労働省と法務省が合同で検討し、短期間のうちに法案提出
- ▶ 平成15年～心身喪失者等医療観察法（重大犯罪を犯した精神障害者の治療と再犯防止を図る処遇制度）の成立施行
- ▶ 裁判では2つの精神鑑定書が提出され、犯行時の責任能力を認める点で両鑑定の結論は一致
- ▶ ……………？

今回の特殊なケースをもって、制度の改変をすれば、  
道筋を誤りかねない。  
客観的なデータを集め、本質的な議論をすべき。  
毎日新聞記者 原昌平

## 「犯行の原因などが明確でないままに制度見直しに突き進むのは拙速だ」

東京アドボカシー法律事務所  
池原毅和 弁護士

精神障害者全体の偏見・誤った認識へつ  
ながるのが危険！  
全国精神保健福祉会連合会

# 池田小学校事件（平成13年）の影響

平成15年～心身喪失者等医療観察法（重大犯罪を犯した精神障害者の治療と再犯防止を図る処遇制度）の成立施行

## ▶ 精神障害者から・・・

- ▶ 「精神科にかかっていると言うだけで、『危険』と見られてしまう！」「外出できない」

## ▶ 家族から・・・

- ▶ 「精神障害者の施設建設の反対運動が起こった」

## ▶ 精神科医師・患者・家族への調査（全家連企画部）

- ▶ 事件によりなんらかの精神身体的な症状（例：眠れなくなった、症状が不安定になった、深く考え悩んだ等）が出現

・・・・38～39%

- ▶ 事件後、具合が悪くなった患者がいた精神科医・・・・90%以上

# 相模原殺傷事件の影響

ヘイトクライム (hate crime 憎悪犯罪) との見方も・・・

## ▶ 重症心身障害者本人から・・・

- ▶ 「私たちは生きている価値がないのですか？」「私たちの仲間が殺されただけでなく、私たちの存在の意味を否定されたのです」「世の中には、私たちをやはり不要な人間という人がいるのです」「みんなが『障害者はみんな殺していい』という言い方に染まってしまいそうで私ははらはらします」

## ▶ 家族から・・・

- ▶ 「やはり、日本は優生思想が強い国ですから・・・」

## ▶ 支援者から・・・

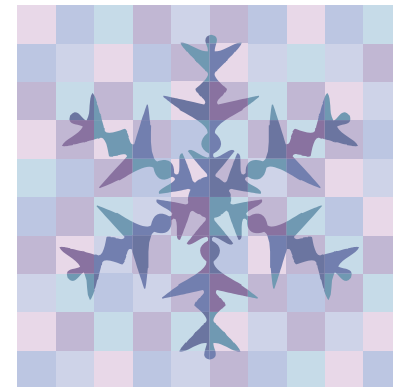
- ▶ 「世間から、疑いの目で見られている気がする」

## ▶ 精神障害者から・・・

- ▶ 「同じ障害を持つ仲間なのに」「精神障害者だからと危険視される」

# 胸を抉られるような事件

- ▶ 直接事件に接していなくても、見聞きすることで、「**ASD**あるいは**PTSD**(心的外傷後症候群**post traumatic stress syndrome**)」のような症状をきたすことがあります。
  - ▶ 眠れない
  - ▶ 動悸がする
  - ▶ 事件のことが頭を離れない
  - ▶ 私は価値がないなどと考える
  - ▶ 人と会いたくなくなる
  - ▶ 憂鬱になる



異常な事態に対する正常な反応

## 心理・感情面

- 不眠
- 恐怖、強い不安
- 孤立感、意欲の減退
- イライラ、怒りっぽい
- 気分の落ち込み
- 自責



## 思考面

- 集中力低下・無気力
- 混乱して思い出せない
- 判断力・決断力の低下
- 選択肢や優先順位を考えつかない



## 身体面

- 頭痛、筋肉痛、胸痛
- だるい、めまい
- 吐き気、下痢、胃痛
- 風邪をひきやすい
- 動悸、震え、発汗
- 持病の悪化



## 行動の変化

- 神経過敏 ●ひきこもり
- ちょっとしたことでけんかになる
- 食欲不振・過食
- 喫煙・飲酒量の増加
- 子どもがえり





# 心理的ダメージの構造



## ④もともとの課題（発生前からの課題など）

発生前からある課題やハンディなど

- 精神疾患や発達の問題
- 生きていくことがつらい（理由は様々）
- 最近、近い人を亡くした
- 過去のトラウマ

**もともと余力がない社会的弱者に  
心理的な負担が重畳**

## ②+③二次被害

被害者が、その後の周囲の対応により、さらに心の傷を深めてしまうこと

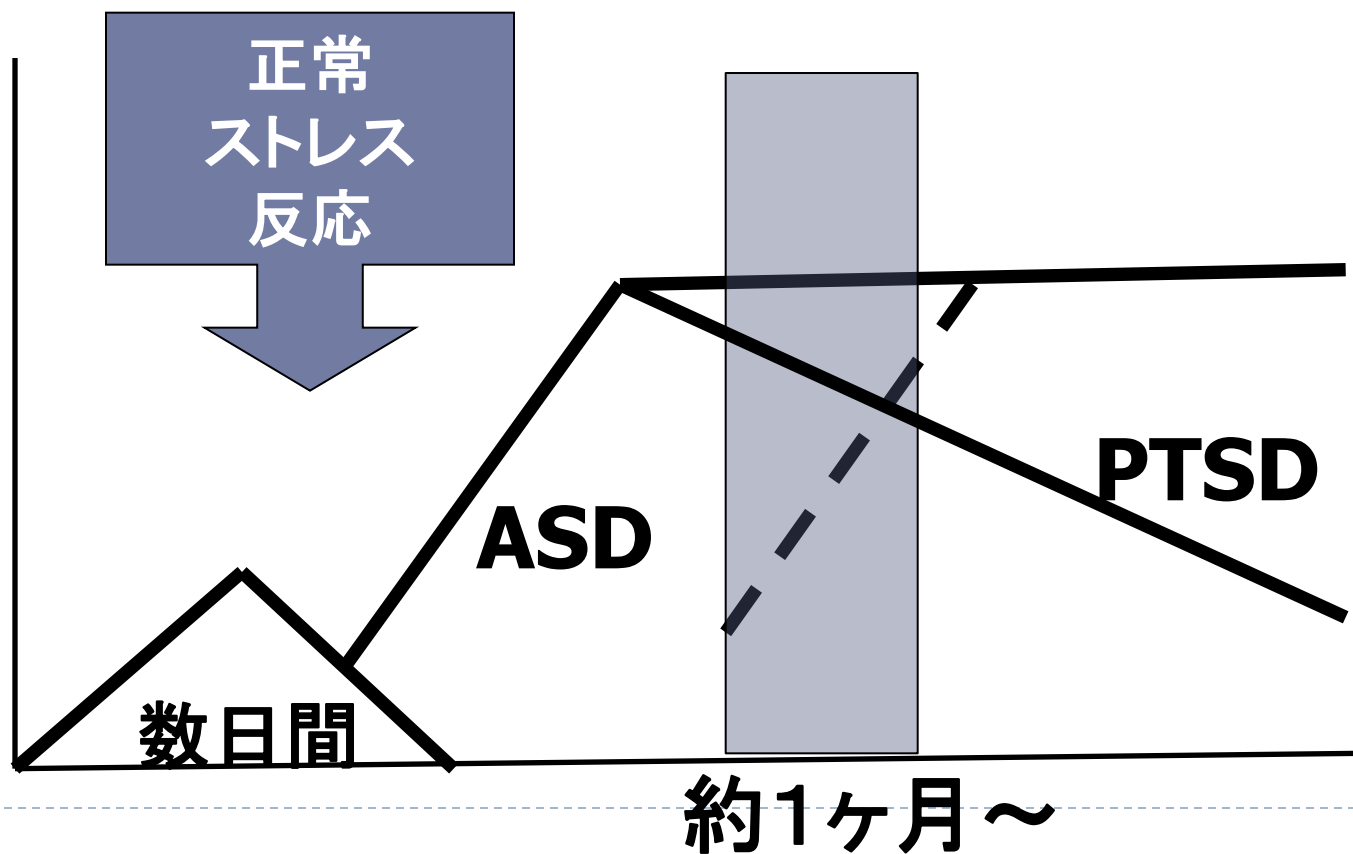
### 二次被害の例

- ・無理に恐怖体験を聞き出される、現地に連れて行かれる。
- ・被害者の落ち度があるかのように指摘される。
- ・被害者が話したいのに、話題をそらされる。
- ・事情聴取・取材や報道による再被害
- ・カウンセリングでの再被害

トラウマだけではなく、現実のストレスを含む。

# 大きな事件後に生じるこころの問題

## トラウマ反応





# 心のケアのポイント

## 1. 安心・安全の保証

- ・生命財産の安全や当面の生活基盤の確保
- ・守られている、一人じゃない
- ・周囲が徐々に落ち着いていく
- ・危ない、怖いところには近づかなくてよい
- ・無理の無い範囲で日常生活を回復

## 2. 正しい知識と対処法

- ・予測される反応と対処法
- ・異常な事態への正常な反応という理解

## 3. 主体性とペースが守られること

- ・話したいことを聞いてもらえる
- ・話したくないのに根掘り葉掘り聞かれない
- ・自分なりの方法とペースが尊重される

# 不安や動揺に対応する

## こころのケア

### ▶ 障害者本人へ..

- ▶ 「私たちは生きている価値がないのですか？」
  - ▶ あなたも、私も、生きている価値は等しく、同等にあります。
- ▶ 「私たちの仲間が殺されただけでなく、私たちの存在の意味を否定されたのです」
  - ▶ でも、私たちは、存在しています。私たちに、存在の意味があります。
- ▶ 「世の中には、私たちをやはり不要な人間という人がいるのです」
  - ▶ そういう人がいたわけですね。でも、多くの方は、そのようなことを言うわけではありません。

安心の提供・存在価値の保証

# 不安や動揺に対応する こころのケア

## ▶ 障害者本人へ…

- ▶ 「みんなが『障害者はみんな殺していい』という言い方に染まってしまいそうで私ははらはらします」
  - ▶ なるほどね。不安になってるんだね…。

傾聴（じっくり聴く）  
理解・共感する（不安は特別なものではない）  
繰り返されても丁寧に保証する  
相手が不安になるようなことは言わない  
「今は不安に思っても、きっと、前のように、安心して暮らせるようになると思うよ。」  
対処法を確認する（気分を変える）

# 不安や動揺に対応する

## こころのケア

### ▶ 家族にて・・・

- ▶ 「やはり、日本は優生思想が強い国ですから・・・」
- ▶ 本人が、あんなに怖がっています
- ▶ 「預けていたから、あんなことになったのでしょうか」
  - ▶ 一つ一つのご家庭が、最善のことを考えて、できることをしてきたのです。今からも、今できる最善のことをし続けましょう。

傾聴(信頼されている)  
安全対策など、こちらが真摯に対応していることを示す。  
安心を提供し続けることが、動揺を鎮める手立てであることを共有する。  
障害者とともに生きる、仲間として対応する。



# 不安や動揺に対応する こころのケア

## ▶ 精神障害者に…

- ▶ 「同じ障害を持つ仲間なのに」
- ▶ 「精神障害者だからと危険視される」
- ▶ 精神的に不安定になる、憂鬱になる、病状悪化

傾聴(じっくり聴く)

安全と保証(あなたと加害者は違う人だ)

「ずいぶん、事件のお陰で不安になったけど、ここは、  
いつもとおんなじ暮らしたよ。きっと、気持ちも、だんだ  
ん安定するよ。」

対処法(安心できることをする)

# 事業主・経営者にしてほしいこと

---

## 利用者のために

- ・ 利用者の話に誠実に耳を傾ける職場環境を作る

## 家族のために

- ・ 安全について十分な取り組みをしていることを職員間で確認し、自信を持って家族の不安に対応する

## 支援者のために

- ・ 人の生命(障害者の命)のかけがえのなさを改めて認識し、それを経営者のことば、態度で職員に示す。

## 神奈川県立津久井やまゆり園での事件について 声明

事件の容疑者は、障害のある人の命や尊厳を否定するような供述をしていると伝えられています。しかし、私たちの子どもは、どのような障害があっても一人ひとりの命を大切に、懸命に生きています。そして私たち家族は、その一つひとつの歩みを支え、見守っています。

また、国民の皆様には、今回の事件を機に、障害のある人一人ひとりの命の重さに思いを馳せてほしいのです。そして、障害の有る無しで特別視されることなく、お互いに人格と個性を尊重しながら共生する社会づくりに向けて共に歩んでいただきますよう心よりお願い申し上げます。

平成28年7月26日 全国手をつなぐ育成会連合会 会長 久保厚子

もし誰かが「障害者はいなくなればいい」なんて言っても、私たち家族は全力でみなさんのことを守ります。

ですから、安心して、堂々と生きてください。

平成28年7月27日 全国手をつなぐ育成会連合会 会長 久保厚子

---

# 支援者も悩む・ゆらぐ・成長する

いのちとは、人間の価値とは、幸福とは？

与えられた課題は、揺らぐ意味世界の再確認、あるいは再構成を、必然的にもたらずもの。

開かれた地域の中で、今まで積み上げてきたものを大事にしましょう。  
支援者としても成長を育みあいましょう。

トラウマを  
超える  
四つの側面

- (1) 他者を信頼し、その関係がより緊密になる
- (2) 新たな可能性を信じるようになる
- (3) 人間としての強さを感じるようになる
- (4) 人生に対する感謝の気持ちが強くなる